

COM100前で花壇整備

美深高等養護農業科2年生たち



苗を一つ一つ丁寧に植え込む生徒たち

の。

今年も作業前に同館内で受注セレモニーが行われ、生徒たちが町教育委員会の杉本力町

教育長から受注書を受け取るとともに「今年もありがとうございませう。よろしく願います」と挨拶した。

その後、屋外に移動し、花壇整備をスタートした。

今回はマリーゴールド（イエロー、ビー、ファイアボール）、ペゴニア（ピンク）、サルビア（紫）の苗、合わせて630株を用意した。

事前に品種や花びらの色で配置を決めると

ともに、花壇には苗を植え込む位置に割り箸を差すなど、準備を進めた。

作業では、ポットに入った苗を花壇に置いた後、苗を一つ一つ丁寧に植え込みながら、色鮮やかな花壇を完成させていた。

瀬川小春さんは「昨年（1年生時）の美深厚生病院と違って、花壇の横幅が広くなったので、計画を立てながら花を植えることにしました。大変さもありますが、やりがいがあります。みんなと分担して植えたいです」と語っていた。

（中村）

【美深】美深高等養護学校（大泉真哉校長）の農業科2年生8人は、12日午前10時半から町文化会館COM100前の花壇整備に汗を流した。同館前の花壇整備は毎年取り組んでいるも